

市民委員会で頂いた主なご意見

第7回市民委員会(令和2年12月17日)

- 基本計画13ページの基本的な考え方で、1、2、3、4と「市民の安全・安心を守る庁舎」から「市民が協働したまちづくりの拠点となる庁舎」とありますが、4番目の「市民が協働したまちづくりの拠点となる庁舎」の中で、4番目の④の「津久見らしさを感じる仕掛け」とありますが、津久見らしさとはイメージ的なものがあるのか？
- 17ページのハザードマップで、予定地のところの津波想定が5m以上10m未満となっていますが、これはどこが出した資料なんですか？
- 47、48ページの津波対策ですが、ア、イ、ウの案がある中で、項目だけで評価すると、ウが一番良くて、コストの面でも一番掛からないということがあったんですが、そういうことは関係なしに、津波の対策を一番優先しての考えという事で良いのですか？
- 津波対策としては、非常に良い事で、後々ピロティをいろいろ活動の場にしていくということでは、大変賛成です。気になったのは、隣にある集客交流施設で、そのまま津波が来たらどうするのか、経費の面もありますけど、出来ればこの集客交流施設もピロティの下で何か集客行事が出来ないのですか。
- 46ページ、施設の配置計画案ですけど、庁舎と公共施設をどのように配置するのか。説明では専門家の方が、B案を押しというような形の理由、少し詳しく聞きたい。
- 津久見市にとって、身の丈に合ってるのかどうか議論を一度して頂きたい。人口ビジョンでは、2040年、50年に1万人を切るぐらいまで人口が減っていく、意見としては、「40億円はちょっと大台に乗りすぎているな」と、削れるものは削るべきであって、その議論も是非して頂きたい。もうちょっと切り詰めるところは切り詰めていく。ピロティ方式を採用するのであれば、やはり集客交流拠点との、相乗効果みたいなのを是非考えて頂きたい、その時に交流拠点に幾ら経費がかかるのか、今考えておられる交流拠点を含めた総経費は今だいたいどのくらいになるのか。20年償還、30年償還の場合で、毎年いくらか返済して、それがまた市の財政として、どれだけ負担になっているのか、又新しい事業が何も出来ないと困るので、その辺りの納得感など、ぜひこれから議論が必要と思いますが、お考えがあれば、お聞かせいただきたい。
- ピロティの件ですが、ピロティの役割を集客交流施設の方で補うようなことは、出来ないのですか。

- 人口の数とか考えた時に、36ページに6,000㎡が必要という国の方の基準で計算をしていますが、IT化の問題がかなり進んでいます。建物そのものの使い方が、非常にフレキシブルにして頂けるとか、いろんな事を検討して、一万人になった時に、大変になると思うので、その辺も是非ご検討頂きたい。
それと、ピロティの話です、交流拠点にしたらどうかという話がありましたけど、東日本の時に、東日本式のマンションがだいぶ足が痛んだんです。ただ専門家の先生がいらっしやるんで、そんなことは無いと思いますけど、検討する折にそこを視野に入れて、是非、ご検討頂きたいなと思います。
- 津久見市にあった身の丈の財源というのがどのくらいかをよく議論しなければならないでしょうか。時間も限られていると思いますし、これだけの財源、単価も50万円以上、もっと掛かるんじゃないかと言われている中で、市民には、納得はいかないかもしれないが、その辺の説明してもらいたい。
- 基本設計の後に実施設計で、だんだんさらに細くなってくると、その段階でもプラスマイナス出てくると思います。是非、絞れるところは絞って頂いて、進めて頂きたいと改めてお願いを致します。
- ピロティの事ですけど、ピロティになると2階が窓口になるといっております。それでエスカレーター等を追加して、追加コストが2・3億円、エスカレーター設定は高齢者のためにエスカレーターのことでしょうか。自分としてはエレベーターの方が良いんじゃないかと思うんですけど。高齢者は、エスカレーターは怖いと思うんで安全性からエレベーターの方がよいと思います。
- 災害に強い避難ビルを造るという事なんですけど、図を見ると、一番右端の方が、避難するところに階段で行くんですか？それと、避難スペースがあるんですけども、これは毎日、このマルシヨク等に、出てる職員。人数、これ統計を取っての避難スペースですか？充分、買い物に来た、お客さんが入れるだけの避難スペースがあるのかどうか？それを聞きたい。
- 市民としては、避難できる避難ビル、ということで納得しているかと思えますけど、1,050人っていう、いつ起きるか分からない。もちろん職員もおります。また周囲も銀行とか、スーパーもあります。あと市民、住民もおります。地域のどの範囲ぐらいまで1,050人というのを目安にしてるんでしょうか。その辺をお聞きしたい。
- 想定されてる範囲では、やはり5.3m、時間50分、その範囲で巨大地震、大津波が来た場合には、弱者又は高齢者含めて、とりあえず早く逃げやすい所、高い所というので、利用されると思われる。現状では、やはり宮山道路が、やっぱり条件の悪い所、50分の範囲で昼夜問わず、庁舎後に避難出来れば一番良いのではないのでしょうか。市には考えがあるだろうが、その辺も説明等考えて行かないと、市民がやはりこういう庁舎があれば、当然埋立地

が良いのではないかと考えていると思います。この地域はこちらに逃げるという範囲を決めていかないと、その辺が少し心配になります。